

第3章 MMTTYのインストール

MMTTYは、簡単にインストールできるような形で配布されています。マウスを数回クリックするだけで、あっけないほど簡単にインストールできてしまいます。しかし、MMTTYを運用するためにほかのソフトウェアもインストールすることもあるので、関連するソフトウェアも同時にインストールすることになります。

さらにインストール後の運用のことを考えると、標準で設定されているパソコン環境では少し使いにくいことがあるので、環境を整えることにしましょう。この設定によってパソコンが使いやすくなると思います。

3-1

パソコンの環境設定



環境設定といっても、Windowsのエクスプローラでファイル名を表示したとき、拡張子まで表示させるような設定と解凍ツールのインストール、システム時間の設定です。なお、使用するパソコンにこの環境がすでに設定されている場合は「3-2 MMTTYのインストール」の項目に進んでください。

■ ファイル名の拡張子を表示させる

Windowsの場合、表3-1に示すように、通常ファイル名はピリオドを挟んで主ファイル名(ピリオドの左側)と拡張子(ピリオドの右側)で構成されています。拡張子はおもに、そのファイルの種類を表していて、実行ファイルは通常EXE(例: MMTTY.EXE)、文書はTXT(例: MMTTY.TXT)などという拡張子が付いています。

しかし、パソコンが初期設定のままだと、エクスプローラでファイル名を表示させたとき、この拡張子が表示されません。拡張子が表示されないと、図3-1に示すとおり、一つのフォルダの中に同じファイル名のファイルが複数表示されてしまい区別できません。次に説明する方法で、拡張子まで表示できるように設定しておきましょう。

□ Windows 98の場合

(1)「スタート」ボタンをクリック

表3-1 Windowsのファイル名の構成

Windowsのファイル名は、ドットを挟んで「主ファイル名」と「拡張子」で構成されている

主ファイル名・拡張子
例 MMTTY. EXE

拡張子によってそのファイルがどんな種類かを判断することができる

- (2)「プログラム」を選択
(3)「エクスプローラ」をクリック
(4)エクスプローラの「表示」をクリック
(5)「フォルダオプション」をクリック
(6)「表示」をクリック
(7)「詳細設定」の「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックをはずす
(8)「現在のフォルダ設定使用」をクリック
- Windows Meの場合
- (1)「スタート」ボタンをクリック
(2)「プログラム」を選択
(3)「アクセサリ」を選択
(4)「エクスプローラ」をクリック
(5)エクスプローラの「ツール」をクリック
(6)「フォルダオプション」をクリック
(7)「表示」をクリック
(8)「詳細設定」の「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックをはずす
(9)「現在のフォルダ設定使用」をクリック

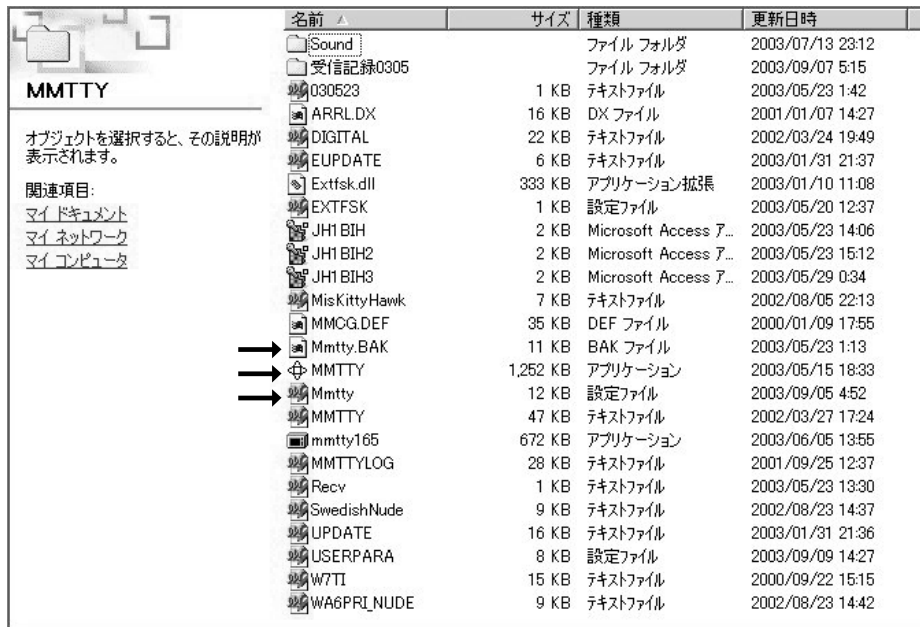


図3-1 拡張子を表示していないエクスプローラ

MMTTY というファイルが三つ見える。しかし、拡張子まで表示させると MMTTY.EXE, MMTTY.INI, MMTTY.TXT というようにそれぞれ違うファイルになっている

□ Windows XP の場合

- (1) 「スタート」 ボタンをクリック
- (2) 「すべてのプログラム」 をクリック
- (3) 「アクセサリ」 を選択
- (4) 「エクスプローラ」 をクリック

- (5) エクスプローラの「ツール」 をクリック

- (6) 「フォルダオプション」 をクリック

- (7) 「表示」 をクリック

- (8) 「詳細設定」 の 「登録されているファイルの拡張子は表示しない」 のチェックをはずす

- (9) 「すべてのフォルダに適用」 をクリック

□ 解凍ツールのインストール

複数のファイルで構成されているソフトを配布する場合、それらを一つにまとめておくとう便利です。

複数のファイルをまとめるためには圧縮ツールを使います。圧縮されたファイルはそのままでは利用できないので、元の複数のファイルに戻す必要があります。この作業を自動で行ってくれるのが解凍ツールです。

いろいろな解凍ツールがありますが、図3-2に示すLHASAが簡単に使えて便利です。まだインストールしていない場合は、次に説明する方法でインストールしておきましょう。

- (1) 本書の付録CD-ROMをパソコンのCDドライブに入れるとインターネット・エクスプローラが表示される。

- (2) 「解凍ツール(Lhasa)のインストール」 をクリック。

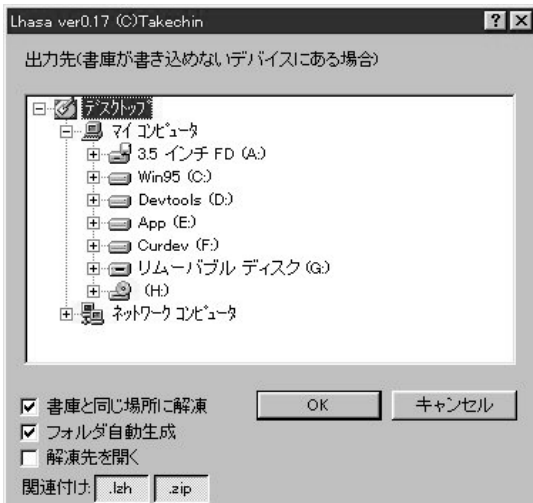


図3-2 Lhasa のインストール・ウィンドウ

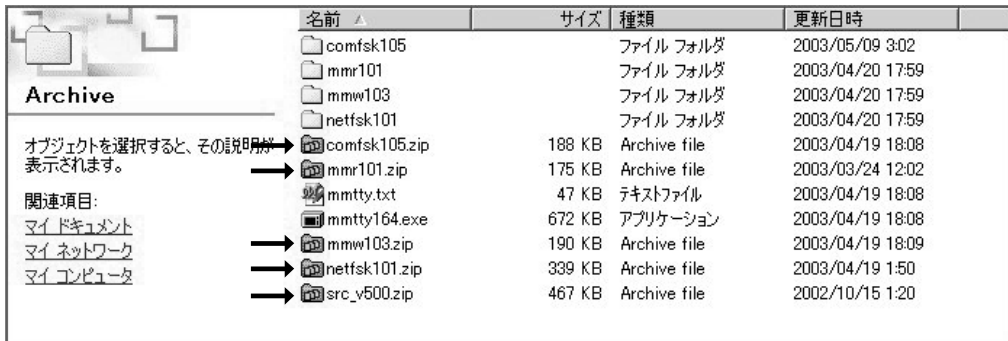


図3-3 LHASAをインストールするとアイコンが変わる
拡張子がZIPのファイルのアイコンが緑になる

- (3) 「このプログラムを上記の場所から実行する」をチェックし「OK」をクリック。
- (4) セキュリティ警告ウィンドウが表示されたら「はい」をクリック。
- (5) 適当なインストール先を選択して「インストール開始」をクリック。
- (6) 「書庫と同じ場所に解凍」と「フォルダ自動生成」をチェック。
- (7) 関連付けは「.lzh」と「.zip」の両方をクリック。
- (8) 「OK」をクリック。

設定が終わると、図3-3に示すように、圧縮されているファイルのアイコンが変わります。アイコンの色は青緑です。

以上のように設定しておくで、圧縮されているファイルのアイコンをダブル・クリックすると、圧縮ファイルがあるフォルダに圧縮ファイルと同じ名前のフォルダが作成され、その中に元のファイルが解凍されます。

■ システム時間の設定

パソコンの時刻表示は思っているほど正確ではありません。ファイルのタイム・スタンプあるいはMMTTYでは、ログの発信時刻などにシステム時間が使われるので、ときどき時刻を校正しておく必要があります。

しかし、忘れてしまうことも多いと思います。そこでインターネットに接続しているパソコンを使っている場合は、タイム・サーバーにアクセスして校正することをお勧めします。

タイム・サーバーにアクセスするためには、ソフト

ウェアが必要です。フリー・ソフトでいくつか公開されている中では、“TClock”が簡単に使えると思います。TClockをインストールするためには、あらかじめLHASAがインストールされている必要があります。

- (1) 本書の付録CD-ROMをパソコンのCDドライブに入れると、インターネット・エクスプローラが表示される。
- (2) 「時刻校正ツール(tclock)のコピー」をクリック。
- (3) 「このファイルをディスクに保存する」をチェックし、「OK」をクリック。
- (4) 適当なフォルダに [tcl230ja.lzh] をコピー。
- (5) タスク・トレイに時刻が表示されているか調べ



図3-4 TClock の設定ウィンドウ